

# 昭和医科大学 国際交流センター NEWSLETTER

vol.06 2026年9月

## 医学部・海外選択実習報告会ー世界での学びを次の一歩へ

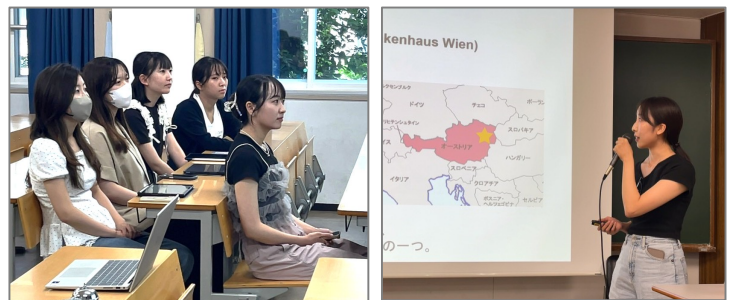
2026年6月30日、旗の台キャンパスにおいて、医学部6年生による海外選択実習報告会を開催しました。本報告会は、臨床実習VB（診療参加型臨床実習）の一環として、2026年に海外選択実習に参加した39名が1か月間の臨床実習で得た学びを共有し、次年度に実習を予定する5年生の準備につなげることを目的として実施したものです。

学生たちは、実習中に作成したスライドを用いて、一人5分間の発表を行いました。実習先の国や医療機関の概要、診療科の体制、診療の進め方に加え、病院内や医局の文化についても、具体的な経験を交えて報告しました。日本の臨床実習を通じて得た知識や経験を踏まえ、医療体制や患者との関わり方の共通点・相違点を考察する発表も見られました。また、言語や文化の違いに直面した際の対応、現地の医学生や医療者との交流、食文化など、実習生活全体を通じた学びも共有されました。各学生の報告からは、異なる環境で主体的に診療に参加し、臨床に対する視野を広げた様子がうかがえました。報告会には、来年度の海外選択実習を控える5年生も全員参加しました。質疑応答では、実習内容や現地での生活、事前準備に関する具体的な質問が寄せられ、学年間で経験を共有する機会となりました。

6年生にとっても、本報告会はこれまでの臨床実習での学びを海外での経験と結び付け、振り返る貴重な機会となりました。今回得た知見が、今後の卒後臨床研修や医師としてのキャリアに活かされることが期待されます。



↑ 現地での発見、指導医や学生との交流を詳細に共有



↑ 来年度実習する5年生も聴講

↑ 実習での学びを将来へ

### アドバンススタディアブロードプログラム



7月30日から8月6日、保健医療学部との協定校であるワライラック大学（タイ）との共催で、3回目のアドバンススタディアブロードプログラムをタイにて開催しました。今回は看護学科及び理学療法専攻から14名の学生が参加し、引率教員として国際交流センターの平泉由香プログラムコーディネーターとマイヤース マイケル准教授が同行しました。

滞在中、学生たちは病院見学や在宅高齢者宅への訪問を行い、現地の医療システムへの理解を深めました。また伝統衣装の着用体験や現地学生との交流を通じ、タイの文化や歴史にも直に触れる充実した研修となりました。

### 初年次スタディアブロードプログラム

本学1年生の医学部7名、歯学部3名、薬学部3名、保健医療学部2名、計15名が、長庚大学（台湾）の学生3名と共に、8月3日から13日まで、オックスフォード大学ハートフォードカレッジ（英国）で研修を行いました。本研修は選択科目初年次スタディアブロードプログラム（科目責任者：工藤芳子教授）の一環で、医療系学生向けに英会話と英国の医療制度を学ぶプログラムです。学生たちは、春から計8回の事前授業でイギリス文化やオックスフォードの歴史を自ら学び、研修初日に行う発表の準備を重ねたうえで研修に臨みました。滞在中は、常にサポートについてくれた現地学生2名や長庚大学の学生らと、授業以外の時間も積極的に英語でコミュニケーションを図る姿が見られました。

石造りのカレッジ群に彩られた中世からつづく街で、最後まで熱心に取り組んだこの経験が、学生たちの今後大きく生きていくことを期待しています。



Hertford Bridge「ため息橋」の前で



Radcliffe Cameraを背景に

## ポートランド州立大学 夏期医療体験プログラム 2026



病院見学の様子



マルトノーマの滝

アメリカ北西部の豊かな自然に恵まれたオレゴン州ポートランド市にあるポートランド州立大学（PSU）で7月30日から8月10日までの2週間、海外研修を実施しました。本プログラムでは、英語講義に加え、医療に関する講義や医療施設の見学など、医療分野について学ぶ機会が設けられています。また、アメリカの雄大な自然を満喫できるアクティビティも取り入れ、学習と異文化体験の両方を楽しめる充実したスケジュールとなっています。

本年度は、医学部から1名、歯学部1名、薬学部2名および看護専門学校3名、合計7名の学生が参加しました。現地では生活や交流をサポートしてくれる学生プログラムアシスタントとの交流を通じて、アメリカの文化や生活に触れる貴重な経験を行うことができました。

## BRIDGEプログラム



7月22日から25日、本学歯学部4年生3名が、協定校であるチュラロンコン大学（タイ）の第2回「BRIDGE（Building Relationships for International Development, Growth, and Exchange）」プログラムに参加しました。本プログラムでは、タイをはじめ、韓国、インドネシア、マレーシア、ネパール、フィリピン、ウズベキスタンなど、多様な国々の歯学生と交流する機会を得ることができました。昨年度に続き、今回もワークショップや歯科講義、文化交流活動など、充実した企画が行われ、参加した学生からは、「この経験は自分自身の将来について考える良い機会となり、歯科医師を目指すうえでのモチベーションをさらに高めることにつながりました」との声が寄せられました。

## 海外でも安全に過ごしましょう！

世界の地政学的変動や地球温暖化による天候の変化への対応など、海外生活に必須な**安全対策・危機管理**の啓蒙として、7月15日、**外務省領事局海外邦人安全支援室**より講師を招き、講演会を実施しました。本講演会は昨年より**海外研修・留学を行う全ての学生の必修講義**としています。本年は臨床実習中の学生も参加しやすいようオンラインで開催し、学生89名、教職員11名が受講しました。

講演「海外における安全対策～滞在中の安全のために～」は「**自分の安全は自分で守る**」という基本の心構えを柱として、講師から、海外滞在登録「**たびレジ**」や「**外務省・海外安全ホームページ**」の紹介とあわせて、日常に潜む犯罪、テロ、自然災害、交通事故、違法薬物など、多岐にわたる注意事項を解説いただきました。特に、海外での体調不良に備えた**海外旅行保険**の重要性が説明されました。本学では、公用で海外渡航する教職員・学生を対象とした海外旅行保険（有料）を設けています。必要な方は国際交流センターへお問い合わせください。



海外安全情報→  
外務省  
海外安全ホームページ

最後に、「海外でトラブルに巻き込まれた時には遠慮なく現地の日本大使館・領事館に連絡してください。365日24時間体制で対応します」との力強いアドバイスを頂きました。海外への出発前に大使館・領事館の連絡先を確認しておくことが大切です。必要な情報を自ら得て、安全で充実した海外生活をお送りください。次年度も7月に開催予定です。自由参加ですので、ご本人やご家族に海外渡航の予定がある方は、ぜひ受講してください。

## 全国医学部国際交流協議会で本学医学部の海外実習の取組みを報告

9月4日、新潟大学にて開催された第17回全国医学部国際交流協議会（J-MICA）講演会に国際交流センターの土屋静馬教授、古田厚子講師らが参加しました。講演会では、各大学の特色ある国際交流の取組について、口演17題、ポスター16題が発表されました。土屋教授は、発表のなかで本学の海外選択実習について、2025～2026年度に39名が参加したことを紹介。学生への周知・選考から渡航前教育、実習中の支援、帰国後の成果共有まで、一連の教育プログラムとして運営する体制を報告しました。質疑応答では、全国医学部の平均の倍近い人数を海外実習に派遣するにあたり、学生に海外実習の魅力をどう伝え、渡航前から現地での実習中・実習後までどのように支援しているのか、具体的な質問が寄せられました。他大学からは、学生の派遣・受入や海外実習プログラムの運営、英国リーズ大学での臨床実習などについて報告がありました。情報交換会でも各大学の担当者と交流を図り、海外実習の教育と学生支援に関する知見を得る機会となりました。



海外実習参加への厳しい選考過程なども説明

## 韓国カトリック大学と医学部間協定を締結

2026年7月、昭和医科大学医学部は、韓国カトリック大学医学部と新たに学部間協定を締結しました。韓国カトリック大学の附属病院であるソウル聖母病院は、2009年に開院し、1日約7000人を受け入れる、韓国有数の大学病院です。血液内科・眼科・泌尿器科をはじめとする高度な診療体制や、ロボット手術トレーニングセンターなど充実した教育環境を備えています。国際連携や留学生の受け入れにも積極的であり、このような環境は本学の学生にとって貴重な学びの場となります。本協定は、昭和医科大学病院副院長 深貝隆志特任教授とソウル聖母病院院長 Ji-Youl Lee教授との継続的な交流と強固な信頼関係を基盤として締結に至ったものです。昭和医科大学は、今後も医学部海外選択実習における質の高い実習先の確保とともに、新たな選択肢を提供し、多様な医療現場で学ぶ機会を広げてまいります。



韓国カトリック大学医学部



昭和医科大学医学部

## サラゴサ大学医学部間協定更新

2026年8月、本学はサラゴサ大学（スペイン）との医学部間協定を更新しました。2021年の締結以降、コロナ禍で交流が滞った時期もありましたが、協定の礎を築いてくださった真田建史教授（医学部精神医学講座）の継続的なご尽力のもと、医学部学生の交換留学が活発に行われています。今後も両大学の連携を一層強化してまいります。

## タイ王国中央胸部疾患研究所医学部間協定更新

7月16日、昭和医科大学江東豊洲病院にて、タイ王国胸部疾患研究所（CCIT）との医学部間協定の更新式を行いました。両機関は、昭和医科大学病院・心臓血管外科山口裕己教授のつながりをきっかけに、2019年から医学部間協定を結び、交流を続けています。式典にはCCITのKhathe Sripratak所長ら、本学からは横山 登江東豊洲病院長、山口裕己教授、土屋静馬教授らが出席し、双方の取り組みを紹介するとともに、研究や人材交流について意見を交わしました。今回の更新を機に、医学教育、研修、共同研究などの分野で、さらなる連携を進めていきます。



## 台北医学大学・長庚大学（台湾）視察



6月22日から25日、宮崎 隆センター長、古田厚子講師、平泉由香プログラムコーディネーターの3名が、台湾の台北医学大学と長庚大学を視察しました。

台北医学大学とは2006年に歯学部、2012年に医学部、そして2017年に薬学部の各学部間協定締結を経て、2018年に大学間協定を締結しました。今回の訪問では学生実習の受け入れ体制の確認および協定書の更新について協議を行いました。

長庚大学とは2024年度にオックスフォード大学（英国）

での研修を共同で開催して以来、継続的な交流を重ねてきました。同大学は質の高い教育・医療環境を有していることから、本学医学部の海外臨床実習の新たな候補地として有望と考え、今回の視察に至りました。現地では、協定締結に向けた具体的な話し合いを進めました。今後、長庚大学との統合協定書の調印に向けた実務的な手続きを進め、協定締結実現を目指してまいります。

## 盆踊り



7月24日、フランスのクロード・ベルナール・リヨン第1大学、ルーマニアのカロルダビラ大学からの学部留学生や、大学院留学生として本学で研鑽を積んでいるタイ、メキシコ、ベトナムの医師等が「旗ヶ岡盆踊り大会」に参加しました。当日は雨予報ではあったものの、幸いにも天候が大きく崩れることなく、留学生は Japanese Bon Dance を通じて、日本文化を楽しみました。



## 歯学部留学生サマープログラム



8月3日から7日、協定校である香港大学、台北医学大学、ブリティッシュコロンビア大学の歯学部より6名の留学生を迎え、歯学部共催のサマープログラムを開催いたしました。このプログラムでは、日本の歯科医療への理解を深めるため歯科病院における複数診療科の臨床見学や、歯学部の研究室訪問を実施いたしました。また、国際交流学生クラブ「ESS Club」は、本学学生が留学生と交流できるよう、江島への半日遠足を企画し、皆にとってとても思い出深いイベントとなりました。

## 料理クラブ（ルーマニア料理）

昭和医科大学では、来日している留学生に母国の料理を紹介していただき、食を通して本学職員と交流しています。

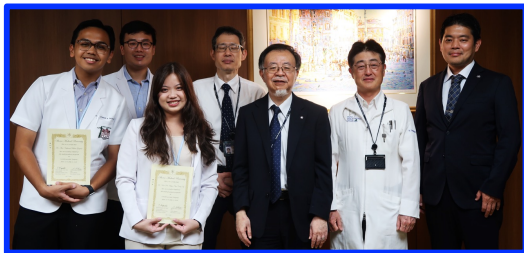
8月26日には、藤が丘形成外科で研修中のルーマニア人医師 Horatiu 先生より、ルーマニアのミチ



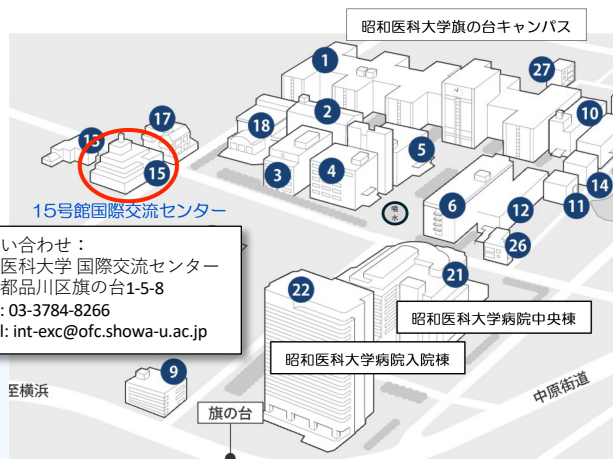
（mici）やロールキャベツを紹介していただき、参加者の皆で楽しく交流しました。普段なかなか味わうことのできない本場の料理を通して、ルーマニアの文化や食習慣に触れる貴重な機会となりました。

## 学部留学生受け入れ報告 7～9月

7～9月に学部留学生の受け入れに携わってくださった部署の皆様、ありがとうございました。



| 学部  | 学生受け入れ部署                      | 在籍機関(国・地域)                  | 人数 | 受け入れ期間                    |
|-----|-------------------------------|-----------------------------|----|---------------------------|
| 医学部 | 昭和医科大学病院<br>心血管外科             | フィリピン大学<br>(フィリピン)          | 2名 | 2026年6月22日～<br>2026年7月17日 |
|     | 昭和医科大学病院・東病院<br>整形外科          | フィリピン大学<br>(フィリピン)          | 1名 | 2026年6月22日～<br>2026年7月17日 |
|     | 昭和医科大学病院<br>救急・災害医学           | カロルダビラ大学<br>(ルーマニア)         | 1名 | 2026年7月7日～<br>2026年7月31日  |
|     | 昭和医科大学病院<br>消化器・一般外科          | ロクマン・ヘキム大学<br>(トルコ)         | 1名 | 2026年7月6日～<br>2026年7月24日  |
|     | 昭和医科大学東病院<br>リウマチ・膠原病内科学      | クロード・ベルナル・リヨン第1大学<br>(フランス) | 1名 | 2026年7月13日～<br>2026年8月21日 |
|     | 江東豊洲病院<br>産婦人科                | クロード・ベルナル・リヨン第1大学<br>(フランス) | 1名 | 2026年7月13日～<br>2026年8月7日  |
|     | 昭和医科大学病院<br>耳鼻咽喉科頭頸部外科        | ワイルラック大学<br>(タイ)            | 1名 | 2026年8月24日～<br>2026年9月4日  |
|     | 昭和医科大学病院<br>小児外科              | ルール大学ボーム校<br>(ドイツ)          | 2名 | 2026年8月31日～<br>2026年10月2日 |
|     | 昭和医科大学病院<br>呼吸器外科             | ルール大学ボーム校<br>(ドイツ)          | 1名 | 2026年8月31日～<br>2026年10月2日 |
|     | 昭和医科大学病院<br>泌尿器科              | サラゴサ大学<br>(スペイン)            | 2名 | 2026年9月7日～<br>2026年10月9日  |
|     | 昭和医科大学東病院<br>眼科学              | ウィーン医科大学<br>(オーストリア)        | 2名 | 2026年9月28日～<br>2026年10月9日 |
|     | 昭和医科大学病院<br>脳神経外科             | ワイルラック大学<br>(タイ)            | 1名 | 2026年9月28日～<br>2026年10月9日 |
|     | 昭和医科大学病院<br>腫瘍内科学             | コロンビア大学<br>(米国)             | 1名 | 2026年6月14日～<br>2026年8月15日 |
|     | 昭和医科大学病院<br>消化器・一般外科(腎移植センター) | コロンビア大学<br>(米国)             | 1名 | 2026年6月14日～<br>2026年8月15日 |
| 歯学部 | 歯学部交換留学                       | ダンディー大学<br>(スコットランド)        | 2名 | 2026年7月13日～<br>2026年7月24日 |
|     | 歯学部 歯科理工学                     | 天津医科大学<br>(中国)              | 1名 | 2026年7月14日～<br>2026年9月4日  |
|     | 歯学部交換留学                       | 香港大学<br>(中国 香港)             | 2名 | 2026年8月3日～<br>2026年8月7日   |
|     | 歯学部交換留学                       | 台北医学大学<br>(台湾)              | 2名 | 2026年8月3日～<br>2026年8月7日   |
|     | 歯学部交換留学                       | ブリティッシュコロンビア大学<br>(カナダ)     | 2名 | 2026年8月3日～<br>2026年8月7日   |
| 薬学部 | 薬学部交換留学                       | クロード・ベルナル・リヨン第1大学<br>(フランス) | 2名 | 2026年9月1日～<br>2026年10月30日 |



## 編集後記

🌿 9月は今年度の折り返し地点、留学を終え帰国する留学生、新たに来日する留学生の姿を目にする季節でもあります。それぞれの学びと経験が、次のステップへとつながっていくことを願っております。ひきつづき国際交流活動へのご協力をお願いいたします。（古田厚子）



2026年9月1日より国際交流センターに学事課 国際交流係 岸田杏樹さんが加わりました。よろしくお願いいたします。